

GEA
グループ

自然冷媒圧縮機の総合展示 半密閉搭載のNH₃チラー紹介



シニアディレクター
Thomas Spaenich氏



シニアバイスパresident
Ewout Bles氏



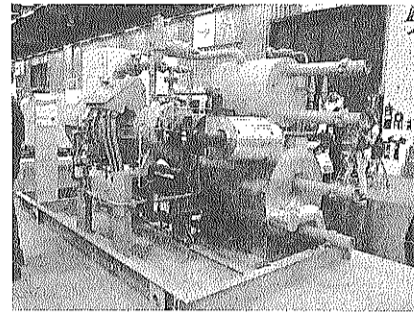
アプリケーションエンジニア
Phillip Schmid氏



プロダクトマネージャー
Manuel Fröschle氏

世界的な産業用機器メーカーであるGEAグループ(本社・ドイツ)は、Chiliventa 2018に出展し、同社の「Keep It Blue」をテーマとし、NH₃チラー、CO₂チラー、H₂Oチラーといった環境性に優れた自然冷媒対応コンプレッサのフルラインアップを紹介した。

同グループでは、業務用のBock (ボックス)と、産業用のGrass (グラス)の二つのブランドのコンプレッサを展開している。Bockブランドでは、各種半密閉型のレシプロコンプレッサを紹介した。ブースでは、高い効率と信頼性を誇るCO₂用コンプレッサに焦点を当てたエリアを設け、トランスクリティカルタイプ「HGXC₂」



空調用途に使用できるNH₃チラー「BlueQ」機は、初号機から今年で50周年を迎えた。これを記念し、

「CompaX」は「CompaX」は世界で初めて半密閉型スクリーンコンプレッサ、オイルセパレーター、モーターの三つを一体化に成功した」と話す。

また、サクシオンガスによるモーター冷却方式を採用したこと、非常に高い効率を実現。さらに、小型の一体型設計はシャフトシールを不要とし、冷媒の漏えいリスクを低減した。CompaXは、こうの特長により、アンモニアの空調用途の用途に道を開くものとして

「CompaX」は「CompaX」は世界で初めて半密閉型スクリーンコンプレッサ、オイルセパレーター、モーターの三つを一体化に成功した」と話す。

また、サクシオンガスによるモーター冷却方式を採用したこと、非常に高い効率を実現。さらに、小型の一体型設計はシャフトシールを不要とし、冷媒の漏えいリスクを低減した。CompaXは、こうの特長により、アンモニアの空調用途の用途に道を開くものとして



ブースの様子

「CompaX」は「CompaX」は世界で初めて半密閉型スクリーンコンプレッサ、オイルセパレーター、モーターの三つを一体化に成功した」と話す。

期待されている。また、新製品として、NH₃採用のヒートポンプ「RedGenium (レッドジニウム)」も展示した。冷媒充填量が少なく、小型、高耐久、高効率といった特性を有している同製品は、新型のレシプロコンプレッサ「GrassovH」を搭載。39バールまでの耐圧設計であり、最

大70度Cまでの温水を供給できる。GEAグループのCO₂コンプレッサやNH₃コンプレッサは、日本では、総代理店の日本熱源システム(社長:原田克彦氏、本社・東京都新宿区)が展開するCO₂冷凍機「スーパーグリーン」や、NH₃冷凍機「フルアストラム」

に搭載されている。GEA Refrigeration Germany社のシニアバイスパresidentであるEwout Bles氏は「当社は日本熱源システムと強固な協力関係を築いており、両製品とも日本市場において大きな成功を収めていることを誇りに思う」と話した。

地球温暖化防止に向けた確実な一歩を CO₂冷媒冷却ユニット

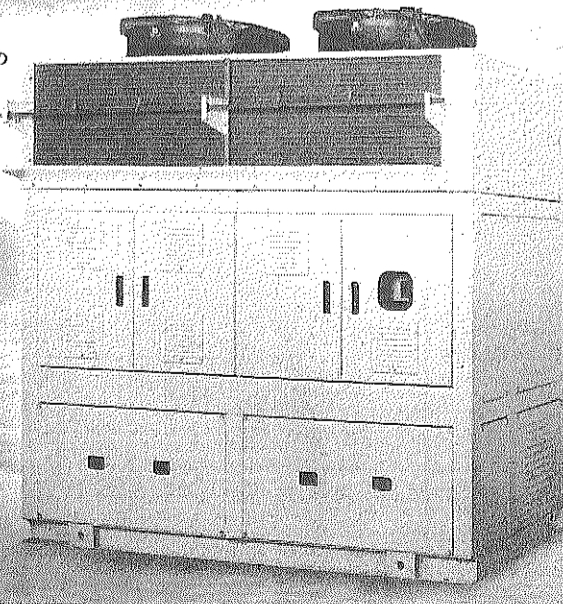


スーパーグリーン 6つの特徴

- 環境性と安全性** CO₂は地球温暖化係数1、オゾン破壊係数0で地球環境に悪影響が無い上、毒性も無く安全。フロン排出抑制法の対象外で取り扱いが容易。
- 省エネルギー性** R404Aに比べて年間20%以上の省エネを実現。夏でも高い省エネを実証。
- 災害対応性BCP** 空冷式を採用し冷却水が不要なため、断水に左右されず、災害時のBCP(事業継続計画)をバックアップ。
- 標準シリーズは4機種** 庫内温度-25℃のF級は、F2型68kWとF1型34kWの2機種、庫内温度0℃のC級は、C2型76kWとC1型38kWの2機種をラインナップ。
- 幅広い冷却温度帯** -45℃～+10℃の幅広い温度帯の冷却が可能。Fタイプは冷凍と冷蔵の同時冷却可能なタイプもあり。
- 設置簡易** 標準シリーズはいずれも法定冷凍トン20トン未満で設置簡易が不要

CO₂冷却ユニットの 広がる用途

- ① 冷凍冷蔵倉庫・物流センター
- ② 食品工場の凍結・冷却装置
- ③ マーガリンなどの食品プロセス冷却
- ④ 製氷用ブラインチラー
- ⑤ 水蓄熱用ブラインチラー
- ⑥ 冷蔵・冷凍ショーケース



日本熱源システム株式会社

本社

〒162-0845 東京都新宿区市谷本村町2-10

www.nihon-netsugen-systems.com

TEL: 03-5579-8830 FAX: 03-5579-8831 大阪支店・工場/滋賀工場/東日本サービスセンター/福岡サービスセンター